

牧野植物園

庭を見る目も変わる？ 植物の緻密な世界

五感ポイント
観る
☆

四季の移ろいを
見守る
牧野博士像

高知県出身の世界的な植物学者・牧野富太郎博士の業績を顕彰し1958年に開園した牧野植物園。その長い歴史を刻む園内の一角南園に、2008年、開園50周年を祝い水景庭園として「50周年記念庭園」が造られました。竹林寺の遺構との調和を図り、東洋にこだわった園芸植物によって彩られる四季折々の美しい庭園景観を観ることが出来ます。

庭や植物をより楽しむために必ず足を運びたいのが、展示館です。ここでは、日本人として国内で初めて新種の植物に学名をつけ、生涯に約1,500種類以上もの植物に命名した「日本植物分類学の父」の姿が紹介されています。中でも牧野博士の植物図は圧巻。1mmの中に5本もの線を引くこともある精密さに感動します。植物園の広報担当者は「展示鑑賞後は、植物図と実物とを比較してみてください」と話します。牧野博士の「綿密に見れば見るほど新事実」という言葉は草花をミクロに観察すれば、また庭園も違ったものに見える、そんな世界を教えてください。

info. ☎088-882-2601 高知県高知市五台山4200-6 9:00~17:00 料金:一般730円(高校生以下無料) 休園:年末年始、メンテナンス日
アクセス:高知ICから車で約20分 駐車場:有



みどりの塔(温室入口)



大木の洞窟をイメージとした高さ9mの塔。アコウの気根が力強く伸び、数十年後には塔を包みます。

展示館



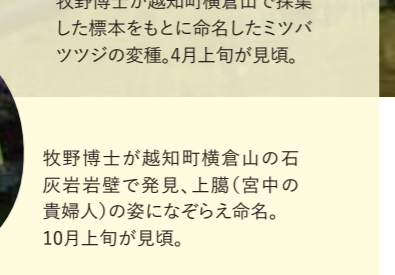
常設展示「牧野富太郎の生涯」では、植物図や著書の複製、観察会の記録や写真などを展示。

トサノミツバツツジ



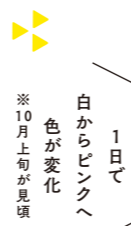
牧野博士が越知町横倉山で採集した標本をもとに命名したミツバツツジの変種。4月上旬が見頃。

ジョウロウホトトギス



牧野博士が越知町横倉山の石灰岩岩壁で発見、上臈(宮中の貴婦人)の姿になぞらえ命名。10月上旬が見頃。

白からピンクへ
色が変化
※10月上旬が見頃



スイフヨウ

中野善廣さん
(栽培技術課)



数々の植物の命名をした牧野博士。その一つに、若くして亡くなった夫人の名にちなみ命名したスエコザサもありました。植物園の魅力は、再び訪れたときに植物の生長が見られることかと思えます。来るたびに違う姿を見せてくれる植物をぜひお楽しみください。



スエコザサ



ここに注目

園内拝見

ジャングルゾーン(温室)



滝しぶきを受けシダ植物やサトイモ科、イワタバコ科など美しい緑の空間をつくりあげます。

展示館シアター



牧野博士の植物図をCGで立体化した4K映像などを、220インチの大画面で上映。

ほっ ひと息どうぞ

レストラン C.L.GARDEN

木の上の小屋をイメージした見晴らしのいいレストラン。ココットのハンバーグランチや市場で仕入れたお魚ランチなど、地元食材をふんだんに使った洋食メニューが楽しめます。

☎088-802-6951
9:00~17:00
モーニング9:00~11:00(L.O.10:30) /
ランチ11:00~15:00(L.O.15:00) / カフェタイム15:00~17:00(L.O.16:30)
料金:シェフ特製ハンバーグのココットランチ1,400円
麓の市場で仕入れたお魚ランチ-アクアパッツァ:2,100円など
休業:本園と同じ



提供:高知県立牧野植物園